

平成27年度 第2回山武市総合教育会議 会議録

日時 平成27年9月16日(水)午後3時30分
場所 山武市役所 車庫棟 第6会議室
議題 (1)協議・調整事項
①山武市教育大綱(案)の策定について
②大綱策定スケジュール
(2)その他

出席者 ◎市長 椎名 千収
◎教育委員
委員長 小野崎 一男
委員長職務代理者 高柳 善江
委員 五木田 孝義
委員 小川 一成
委員 今関 百合
教育長 嘉瀬 尚男
○関係職員
副市長 中野 伸二
総務部長 関 嘉和
教育部長 渡邊 聰
保健福祉部長 川島 勝喜
総務課長 石橋 和記
財政課長 小川 雅弘
企画政策課長 田上 和弘
子育て支援課長 中村 洋一
教育総務課長 小川 宏治
学校教育課長 齊田 謙一
学校教育課指導室長 井上 博文
生涯学習課長 小野 稔
スポーツ振興課長 高橋 宏和

・事務局

教育総務課総務企画係長 秋葉 一徳
教育総務課総務企画係主査補 鈴木 慎太郎
教育総務課総務企画係主査補 篠原 正洋

◎開 会

教育部長 ただいまから、平成27年度第2回山武市総合教育会議を開会します。それでは、初めに市長から挨拶をお願いしたいと思います。

市長 それでは、皆さん、こんにちは。お忙しい中、総合教育会議の開催に当たりまして、お集まりいただきましてありがとうございます。
2回目ということでございますが、本日は教育大綱を決めるということになると思います。皆様方のご意見をしっかりといただき、決めていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

教育部長 ありがとうございます。
続きまして教育委員長挨拶をお願いします。

委員長 本日はご苦労さまでございます。市の幹部の皆さんも総合教育会議ということでお集まりいただきましてありがとうございます。
教育委員会としても、いろいろ議論を重ねてまいりましたので、議論は深く、会議は短く、あとは実行で賄うということで、スムーズな進行なり、集約をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

教育部長 ありがとうございます。それでは議事に入ります。
議長については、「山武市総合教育会議設置要綱」第4条第1項、「会議は、市長が招集し、会議の議長となる」とありますので、市長をお願いしたいと思います。
それでは市長、よろしくお願ひします。

◎議 事

(1) 協議・調整事項について

市長 それでは、教育部長のほうからお話がありましたように、私が議長になると定められていますので、しばらくの間、議長を務めます。よろしくお願ひ申し上げます。
それでは、本日の議題であります、山武市教育大綱（案）の策定につきまして上程をいたします。早速ですが、事務局から説明をしてください。

教育総務課長

それでは、資料の説明をさせていただきます。

第1回目の総合教育会議において、教育大綱をどのようにつくっていくかという話し合いの中で、今現在、市の教育委員会で策定しています教育振興基本計画の骨子を使って、教育大綱としましようという方向性で話が大体はまとまっていたと思います。それを踏まえまして考えたというのが、2つ資料あるんですけども、案1というところになります。

これは教育委員会の協議会の中でもお示ししたのと同じ内容になっています。その後、市長からご意見をいただきまして、一部修正というかグローバルな教育の必要性というものを中に盛り込むというお考えをいただきました。

修正をするという考え方からすると、もともと前回までのお話し合いでしたら、教育大綱と教育振興基本計画は同じものであるという認識だったんですが、それを修正することによって、教育大綱と同じものではなくなってしまうことになってくるのかなというところで、事務局としましては、案2というもので別のものとして教育大綱をつくって見たらという案を今回、出させていただいたというところでございます。

案2のほうをご覧いただきたいと思います。1枚めくっていただきまして、「はじめに」、市長のご挨拶文のところでございます。ここの中の下から2段落目、「この大綱の」、ここを新たに加えたところでございます。読ませていただきますが、「この大綱の策定にあたっては、山武市教育振興基本計画を尊重したうえで、これからのまちづくりを示す地方創生総合戦略を踏まえ、『グローバルな人材の育成』を重要な方向性として位置づけました。子どもたちの生きる力として、単に英語力を高めるだけでなく、国内外で活躍できるような国際人を育てるためのグローバル教育が必要と考えます。」という部分を、1回目の総合教育会議の中でお示しした案から加えたご挨拶文になっております。

グローバルな人材の育成というキーワードを教育大綱の中に盛り込むことから、案2の2ページ目のところに、山武市教育大綱として、4つの目標を掲げて各施策に取り組むという形にあらわしてみましたところでございます。「本市の教育行政を推進するため、山武市教育振興基本計画に掲げる教育理念を踏まえ、大綱として次の4つの目標を掲げ、各施策に取り組みます」とした上で、目標1から3までは教育振興基本計画に掲げる目標ということになっています。

4つ目、「グローバル社会で活躍できる人づくり」というところ

につきましては、今回市長のご挨拶文などの地方創生総合戦略を踏まえ、グローバルな人材の育成というキーワードをもとに、新たに加えたところになります。「山武市教育委員会は、社会の急速なグローバル化の進展の中で、子どもたちが活躍できるよう、英語等の語学力・コミュニケーション能力、異文化理解力の向上を図るとともに、創造性、協調性、チャレンジ精神、リーダーシップを身につけた、真の国際人の育成につとめます」という条文をここに加えたところでございます。

最後、4番目としまして、「大綱に基づく施策の実施」、「本市は大綱に掲げる目標の達成に向け、山武市総合計画及び山武市教育振興基本計画を確実に実行することを基本に、本市の現状と課題を明確にした上で、効率的かつ効果的に教育施策を推進していきます」ということで、前回お示しした案と比べると、ほんとに目標の部分大きく掲げて、それに対してこれから先も具体的に取る施策の部分につきましては、それぞれ既存の教育振興基本計画にもう盛り込んでありますので、その部分の表記は省いている形にしてみましたという案を、ここに示させていただいたということでございます。

説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

市長

事務局の方から説明がありまして、案2を中心にお話しいただきました。今、私のほうで、最初の総合教育会議では、教育振興基本計画そのものを大綱にしているのではないかとお話を申し上げましたけれども、今、取り組んでおります地方創生の戦略、まだ未定稿といいますか、明日会議があって、議会にもお示しを、これからですけれども、案といいますか、現段階でできているものを皆さんに見ていただいて、そこに教育の位置づけをどのようにしているかということを見ていただきたいと思います。

その上で、私のほうからグローバルという視点をどうしても盛り込まないといけないのかなと思いましたが、この中に入れさせていただくことになりました。

そういたしますと、教育振興基本計画というのは部分修正できないみたいですから、それはそれで残るので、修正を加えるのであれば、大幅に案2のように変えたらどうかというのが事務局から示されたものであります。そうすると、2本立てになりますよね。教育大綱と、それから教育振興基本計画、今年度はこういったものが2本立てになって進んでいくことになろうかと思えます。

お話をさせていただきますけれども、今、地方創生でこれからのまちのあり方、沈没しないようにということで、どういう形でまちづくりをしていくかということが国のほうから求められているものですから、かなり総花的というよりはポイントを絞って戦略をつくっています。

その中で、成田空港圏にあることを非常に強く意識をさせていただいています。もう一方で、今、成田空港を取り巻く一番大きな問題というのが、近々四者協議会がありますけれども、第3滑走路をつくるという動きが非常に活発に出てきました。そういった成田空港にも非常に大きな動きがありまして、ここで、成田空港圏にありながら、どんどん人口が減っていくという現状は、私としては看過できないということを強く申し上げていまして、成田空港がこんな近くにあるのだから、これを中心として、この地域をもう少し発展できるようなプログラムにしていくべきだろうということをお話し申し上げています。

そうすると、当山武市の今回の地方創生のプログラムとは、成田空港を中心とした地域の発展というものを強く意識すると。それから、人口が減っていくのを食い止めるための、いつも言われることは雇用の問題ですけれども、簡単に雇用が作り出せない状況の中では、成田空港にはこれからも雇用そのものが存続しますし、もっと人材を求めている状況にありますので、そもそも雇用が成田にはあると考え、これを例えば、第3滑走路をとということも、世界の空港間の競争においては、発展的に考えていかなければなりませんので、そうすると空港そのものの雇用もこれから大きくなるでしょうし、関連の産業もどんどん増えていくだろうと思いますので、それを私たちも積極的に成田空港と、成田空港の経済力をこちらのほうにも呼び込む形で地域づくりをしていく必要があるでしょう。そういうふうに考えます。

そういった方向で地方創生のプログラムをつくっています。そうなりますと、国際空港でありますし、どんどん海外との交流も増えてまいりました。また、山武市はご承知のように、オリンピックに向けて事前キャンプの招致を決定して、非常に活発に交流を始めてございますし、2020年には多くの方が当山武市においでいただく可能性もあります。オリンピックはおそらく日本全体の国際的な人の流れをさらに加速をするものと考えますので、成田空港からこれだけ近い距離にある山武市としては、これからも積極的に対外交流も強めていきたい。

そういった中では、これは教育長も特に言っている点ですけれども、一番最後のグローバルというものの考え方ですが、英語ができることイコールグローバルではないということで、日本人としてのしっかりとした文化的な背景といいますか、人格の形成も含めてしっかりとした国際人を育てていくという教育の方向性を打ち出していかなければいけないと思っています。

そういった中で、今回、教育振興基本計画を尊重しつつ、そこにグローバルという視点を加えていただきたいということで、お願いを申し上げているところでございます。

この資料は、一旦見ていただいたら、まだ外に出せる状態ではないと思いますので、恐れ入りますが、また回収させていただいて、内容的にこんなことを施策でやっているということを見てください。

体系図というところで、ここに教育委員会の標語みたいに育てる力なんていうのが出てきていますが、「山武市<育てる力>集中創生戦略」ということで、4つの柱がございします。

地域の魅力と誇りの創生、やはり地域を意識していきたいと。それは山武市に住むということに、いかにプライドを持ってもらうかというシティプライドという表現をしているようです。

2番目に、そういったシティプライドを持てる人材、グローバルな人材を育てる力をつくっていききたいと。ここには教育と外出しをさせていただいております。

3番目として、出産・子育て支援及び高齢者福祉の担い手を育てる力、これは今、医療福祉に非常に、特に松尾高校のSGHは福祉部門で国際的な人材を育てるプログラムですので、高齢者福祉の担い手を育てる力という表現になっています。

4番目、地域経済を育てる力の創生というのは、先ほど私がお話し申し上げましたように、成田空港を中心として、もう少しこちらの方面も反映をしていいのではないかと、成田ばかりでは困るといのが私の言い分ではありますが、そんなことを柱として、下のほうに1から4までの具体的な施策ということになっています。

副市長

資料に基づき、山武市の地方創生戦略について説明。
(内容については、政策の意思形成過程における情報につき省略。)

市長

ざっと、今ご説明申し上げたのが、山武市の地方創生戦略です。今、市が一番重点的にやっているのがこれです、ご覧になっていたように、この中で教育に関係していないのは4-1のエコ

ノミックガーデニング、経済の創生というあたりが直接的にはないんですが、そのほかはほとんど教育委員会のお力もいただかなければいけないものになってございます。そのぐらい地方創生そのものを、人材育成、教育というものを前面に打ち出したものになってございます。

そういう意味で、今回、教育振興基本計画にグローバルな視点というものをぜひとも盛り込んでいただきたいというご提案を本日させていただいたということで、大変長くなりましたが、今回の事務局の説明につけ加えさせていただきました。

今、副市長のほうからさまざまなご説明をいただきましたが、例えば英検などというのは教育委員会のほうからご提案もあって、そういったものも既にこちらに反映させていこうというようなやりとりをしながらつくっていきたいと思っておりますし、私どものほうから、こういった地方戦略を組んでいきますので、教育大綱も呼応した形で作り上げていければと思っておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

あとは、つけ加えなくて大丈夫ですか。資料の案1というのは示したんですか。

委員長

それは教育委員会協議会の中でもんできた内容なので、それは教育委員会は大丈夫です。

市長

そうすると本日ご協議いただいて決めなければいけないのは、第2回目の総合教育会議では大綱の案を提示して、ご協議をいただいて、次の第3回総合教育会議では最終案に持っていかなければなりませんので、この案2で進めていってよろしいかということをお本日決めればいわけでしょうかね。いかがでしょうか。

委員長

案2で行きましょうというふうに思います。

市長

よろしゅうございますか。

委員長

はい。そうすると、第3回はやらなくていいんじゃないかと内々に話しているんですけど。

市長

あ、そうなんですか。

委員長 今日、大体方向が決まれば、あとはどういう修正があるとしたら、それはお任せすることにしていいんじゃないかという話で。

市長 そうですか。それでは、今、委員長さんからそういったお話をいただきましたので、お示しをいたしました案2で、特に修正、あるいは追加すべきものがあるということでしたら、ご意見をいただければと思います。

委員長 あとは、事務局で見て、もし言葉尻がおかしかったとか、そういうことを直してくれれば、それで大丈夫だと。

市長 よろしゅうございますか。

委員長 はい。

市長 表現ですとか言葉遣い、同じようなことですが、それから構成、多少前後することがあるかもしれませんが、大筋においては、今日お示ししました案2を山武市教育大綱の最終案ということで決めてしまっていていいということですか。

委員長 はい。

市長 よろしいでしょうか。それでは、今日の会議で、今日お示ししました案2を山武市教育大綱と決定をさせていただくことにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

市長 よろしゅうございますか。ありがとうございます。それでは、これを教育大綱とさせていただきます。

(「はい」の声あり)

市長 ありがとうございます。では、事務局のほうにその他は移していいんですか。

教育部長 はい。

市長 お返しいたします。ありがとうございました。

◎その他

教育部長 ありがとうございます。次第の5、その他ですが、何かございますか。

教育総務課長 事務局からですが、今日、方針が決まったんですけれども、第3回は、この教育大綱に関しての策定に関する総合教育会議はなくなったということですが、この次に控えています学校の規模適正化・適正配置の関係の会議のほうは、年内に開いていただければということ考えています。またその日程につきましては、改めてご連絡させていただきますので、ぜひお願いしたいと思います。以上です。

教育部長 ほかになれば、以上で平成27年度第2回山武市総合教育会議を終了いたします。

◎閉 会 午後4時25分